

三陸沿岸道路(尾肝要道路・普代道路)の 開通後の交通状況や効果についてお知らせします ～水産輸送や観光ツアーで、時間短縮・安定輸送などによる効果現れる～

東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとして三陸沿岸道路等の整備を進めています。
このたび、尾肝要道路(開通3ヶ月後)と普代道路(開通8ヶ月後)の交通状況及び効果について取りまとめましたのでお知らせします。

【位置図】



【尾肝要道路】(平成26年3月2日開通)

	総交通量	
	供用前(H26.2.19)	開通後(H26.6.3)
尾肝要道路	—	2,200台/日
国道45号(現道)	2,400台/日	200台/日

【普代道路】(平成25年10月13日開通)

	総交通量	
	供用前(H25.10.2)	開通後(H26.6.3)
普代道路	—	2,300台/日
国道45号(現道)	4,300台/日	1,300台/日

- ◎時間短縮と安定輸送で、水産輸送での鮮度の保持や効率化に貢献
- ◎時間短縮により観光ルートが拡大、地域観光を支援 (別紙)

発表記者会: 久慈報道機関各社、宮古記者クラブ、東北専門記者会

〈問い合わせ先〉

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所
電話番号 0193-62-1711(代表)

副 所 長 としま まもる
戸 嶋 守 (内線204)

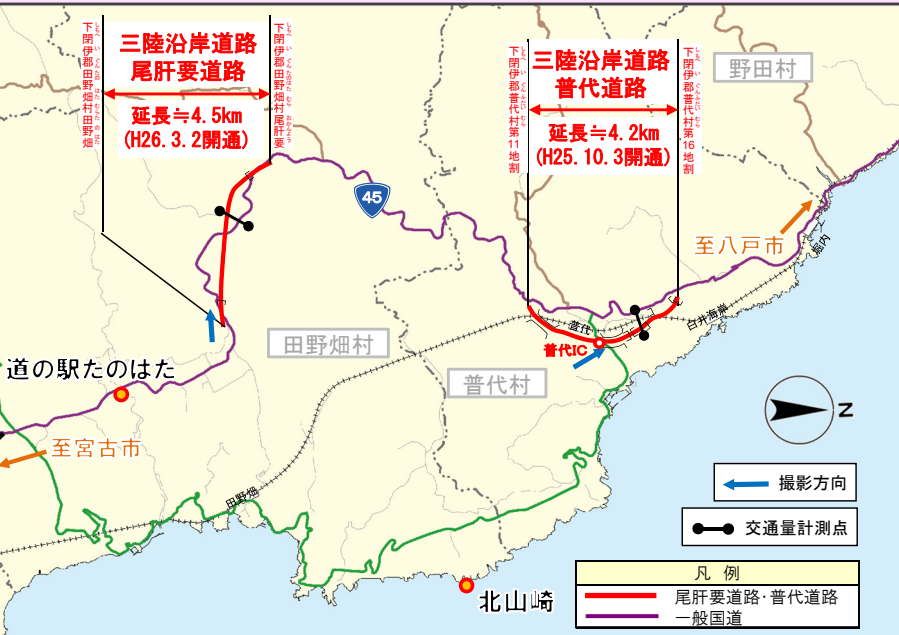
調査第一課長 なりた しんたろう
成 田 信太郎 (内線451)

【尾肝要道路 開通3ヶ月後、普代道路開通8ヶ月後】

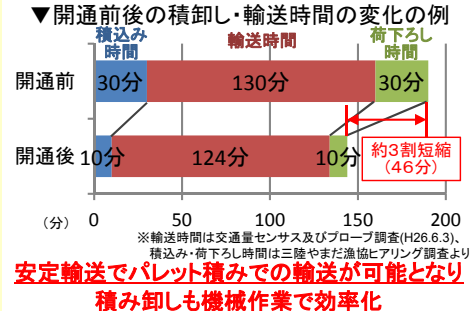
尾肝要道路、普代道路が開通して

- ①水産輸送での鮮度の保持や効率化に貢献
- ②観光ルートが拡大し、地域観光を支援

(普代道路：平成25年10月13日開通 尾肝要道路：平成26年3月2日開通)



①時間短縮と安定輸送で鮮度保持や輸送効率化に貢献

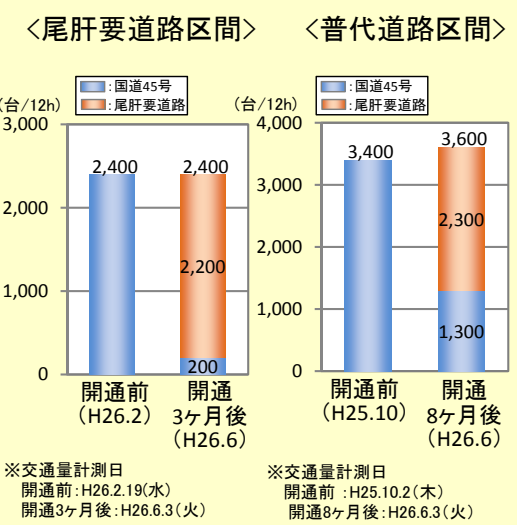


《漁業関係者の声》

◆ホタテの稚貝を野田漁港から仕入れていますが、時間短縮と荷痛みの減少でより鮮度を保った輸送が出来るので、貝の生存率やその後の蓄養に良い影響があります。

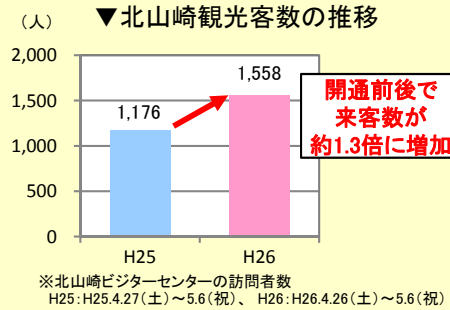
◆荷崩れの可能性が減ったことでパレットでの積み・輸送が可能になり、従来より効率よく積み卸し作業を行えるようになりました。荷下ろし完了までの作業が約1時間ほど早くなり、その日遅くまでかかっていた吊り下げ作業を早く終わらせるようになりました。(H26.5 三陸やまだ漁協ヒアリング調査)

▼利用交通量の状況



②時間短縮により観光ルートが拡大

・ツアーでの立ち寄り箇所が増加



《観光事業者の声》

◆田野畑周辺のツアーでは、開通した道路での短縮時間を活かし、北山崎に寄ることもできるようになりました。(H26.5 観光バスツアー事業者ヒアリング調査)

